

あまちゃん通信

第2号

平成24年10月15日発行

■企画・編集・発行

朝の連続テレビ小説「あまちゃん」
支援推進協議会事務局

電話：0194-52-2111

FAX：0194-52-2367

「あまちゃん」歓迎ムード続々

9月4日（火）の推進協議会発足以降、ロケ予定各地では「あまちゃん」を歓迎する動きが活発になっています。

久慈駅前には歓迎看板を設置されたほか、協議会で作成したのぼりが商店街各所に設置されるなど、地域が盛り上がりを見せています。

今後はロケ地を訪れる観光客の方も増えてくると予想されますので、お客さまを温かく「おもてなし」していきましょう！



横断幕やのぼりが掲示された商店街

10月中旬からドラマロケが本格スタートします！

10月4日（木）やませ土風館において、朝の連続テレビ小説「あまちゃん」支援推進協議会ロケ支援部会が開催されました。

10月中旬から行われるロケに向けて、受入対応について確認し、撮影がスムーズに行われるよう取り組むことが確認されました。

ロケ期間は約1ヶ月。これだけの期間をかけてロケを行うことは稀だそうで、関係者のみなさんは撮影に向けて奔走されています。このロケでは、募集していたエキストラの皆さんにもご協力をいただき、撮影が進められる予定で、ロケ終了後は東京のスタジオで収録が進められるとのことです。

ロケ撮影にご理解・ご協力をお願いします

いよいよ10月中旬から北三陸地域でのロケが本格スタートします。

ロケ現場に遭遇したり、エキストラに参加の際は下記にご注意・ご協力をお願いします。

- ・撮影当日の出演者への声掛け・サイン・握手を求めたりしないこと
- ・デジカメや携帯電話、スマートフォンなどでの写真撮影はNG
- ・現場の指示に従い、交通の妨げにならないように気を付けること

ロケ現場は「出演者・スタッフの仕事場」です。

スタッフ・出演者のみなさんが、快適に撮影できるよう、皆様のご協力をお願いいたします。



北三陸 紹介コーナー

このコーナーでは「あまちゃん」の舞台となる北三陸の魅力を紹介していきます。

第1回 久慈市 観光キャッチフレーズ「白樺ゆれる 琥珀の大地 海女の国」

久慈市は、岩手県北東部の沿岸に位置し、東側は太平洋に面し、陸中海岸国立公園の北の玄関口、西側は遠島山など標高1,000m以上の山嶺を有する北上高地の北端部にあたります。また、東流する久慈川・長内川等の河川が北上高地を開析し、急峻な渓谷を形成しながら太平洋に注いでいます。

総面積は623 km²で、その87%を山林が占め、山の幸、海の幸が豊富な自然豊かな地域です。

このように自然環境に恵まれているほか、伝統工芸の「小久慈焼」、国内最大の産出量を誇る「琥珀」など地域資源も豊富です。

また、古くから郷土に伝わる芸能、行祭事も多く、今なお盛んに催され、9月に行われる「久慈秋まつり」は600年以上の歴史を誇る岩手県北最大級のまつりです。



ヒロインが目指す「北限の海女」とは!?

観光実演の時は「かすり」と短パンの衣装。
漁の時はウエットスーツで潜ります。

手ぬぐい・水中メガネ

手ぬぐいで髪を抑えて
水中メガネで視界を確保

ソエカギ・手袋

くっついているウニを
カギを使って採るよ。
手に棘が刺さらないよ
うに手袋をします。

足袋とぞうり

海中の岩や貝から足を守る!



ヤツカリ

腰から下げた網の中に
採れたウニを入れます。

北限の海女イメージキャラクター
アマリン

「北限の海女」は陸中海岸国立公園の北部に位置する久慈市の海で活躍する海女たちの総称。沖合は世界三大漁場の一つに数えられ、豊富な海洋資源が漁業者を支えています。

海女の始まりは明治初頭と言われています。遠洋漁業が発達し男たちが何日も家を空けるようになると、女性たちは家事や畑仕事の合間に漁に出てアワビやウニなどを採り家計を助けるようになりました。子供たちも一緒に漁に出るようになり、自然と潜水の技術を身につけて海女になっていったとか。

現在行われる海女漁は、夏場のウニ漁に限られていますが、7月から9月までの3ヶ月間は小袖海女センターで海女の観光実演が行われ、素潜り漁を見学することができます。